

「産業連関表分析ツール」 各レポートの使い方・分析例



目次

<一般的な使い方>

1. 各レポートの実数が知りたい・・・・・・・・・・ P1
2. より細かい分類で分析したい(ドリル機能)・・ P2

<分析使用例>

1. ○○の原材料等の構成を知りたい・・・・・・・・ P4
2. ○○の販売先を知りたい・・・・・・・・・・ P5
3. 輸出入・移輸出入の大きい産業
を知りたい・・・・・・・・ P6

<一般的な使い方>



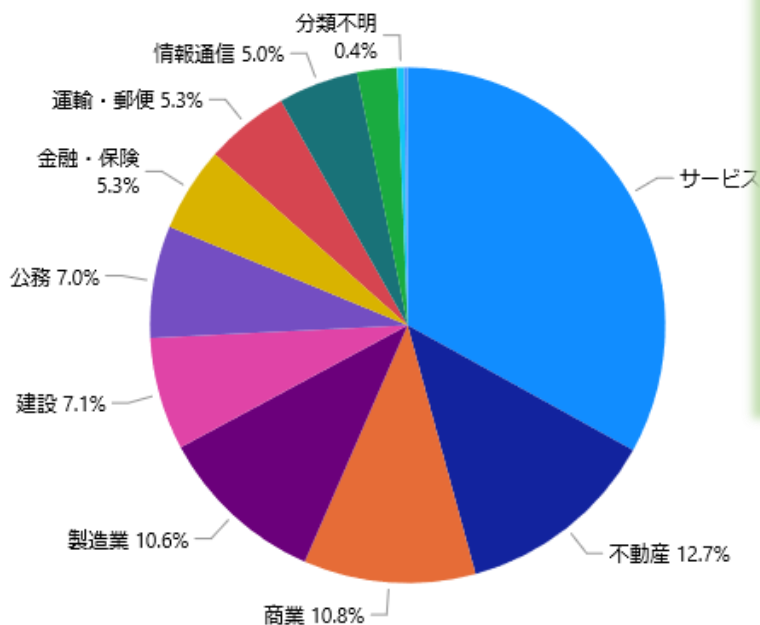
1. 各レポートの実数を知りたい

生産額分析

さいたま市の産業ごとの生産額の大きさや中間投入及び粗付加価値の大きさ、粗付加価値の内訳を調べることができます。



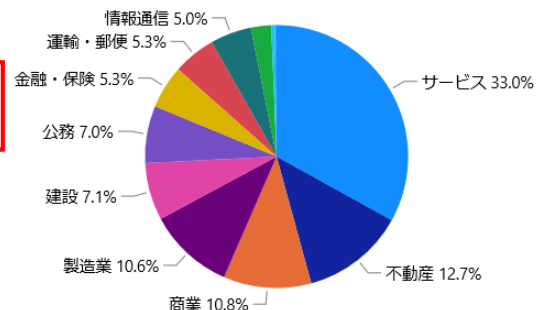
各部門の市内生産額の構成比



< レポートに戻る

各部門の市内生産額の構成比

②元の画面に戻る場合は、
ここをクリック



指標用部門.13部門名 市内生産額(百万円)

サービス	2,447,904
不動産	940,684
商業	799,429
製造業	785,877
建設	522,957
公務	520,793
金融・保険	393,052
運輸・郵便	390,393
情報通信	371,801
電力・ガス・水道	185,431
分類不明	32,785
農林漁業	15,602
鉱業	94

テーブルとして表示

次のレベルを表示

次のレベルに展開

1,048,192

営業余剰

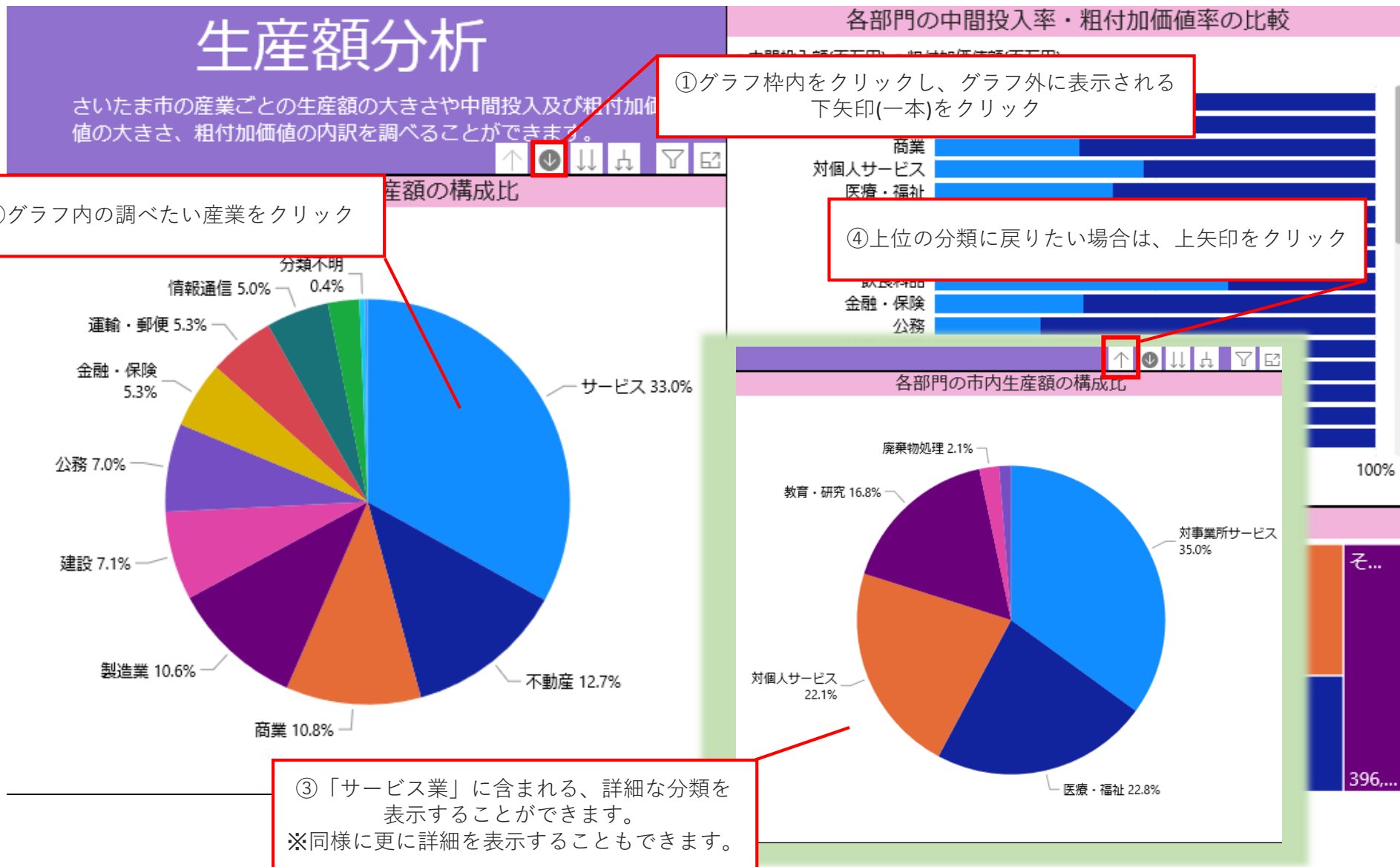
923,693

396,...

①グラフ枠内で右クリック (スマホの場合長押し)
→「テーブルとして表示」で、詳細を確認できます。

2.より細かい分類で分析したい(ドリル機能)

①特定の産業の詳細を知りたい場合



2.より細かい分類で分析したい(ドリル機能)

②全産業の詳細を知りたい場合

生産額分析

さいたま市の産業ごとの生産額の大きさや中間投入及び粗付加価値の大きさ、粗付加価値の内訳を調べることができます。

↑ ↓ ⇓ ⇄ ⌵ ⌶

各部門の市内生産額の構成比

産業	構成比
サービス	33.0%
不動産	12.7%
製造業	10.6%
商業	10.8%
建設	7.1%
公務	7.0%
金融・保険	5.3%
運輸・郵便	5.3%
情報通信	5.0%
教育・研究	5.6%
医療・福祉	7.5%
対個人サービス	7.3%
対事業所サービス	11.6%
化学製品	2.1%
飲食料品	2.7%
業務用機械	0.8%
水道	0.7%
鉄鋼	0.1%
分類不明	0.4%

各部門の中間投入率・粗付加価値率の比較

① グラフ枠内をクリックし、グラフ外に表示される下矢印(二本)をクリック

部門	中間投入率	粗付加価値率
商業
対個人サービス
医療・福祉
金融・保険
公務

③ 更に詳細を見たい場合は、下矢印(二本)を上位の分類に戻りたい場合は、上矢印をクリック

各部門の市内生産額の構成比

部門	構成比
不動産	12.7%
対事業所サービス	11.6%
商業	10.8%
医療・福祉	7.5%
対個人サービス	7.3%
建設	7.1%
公務	7.0%
教育・研究	5.6%
金融・保険	5.3%
運輸・郵便	5.3%
情報通信	5.0%
飲食料品	2.7%
化学製品	2.1%
業務用機械	0.8%
水道	0.7%
鉄鋼	0.1%

② 産業を絞らずに詳細な分類を表示することができます。

<分析使用例>



1. ○○の原材料等の構成を知りたい

例として、「食料品」の投入構造を調べてみましょう。

投入分析

②プルダウンから「食料品」を選択します。
※大きい分類から選択していくと、探しやすいです。

調べたい部門を以下のプルダウンから選択してください。

13部門

製造業

37部門

飲食物品

107部門

食料品

187部門

すべて

← 選択のリセット

各部門の投入額及び構成比

13部門名	投入額	構成比
製造業	44,144	52.7%
農林漁業	14,987	17.9%
商業	11,866	14.2%
サービス	4,586	5.5%
運輸・郵便	4,300	5.1%
電力・ガス・水道	2,222	2.7%
情報通信	609	0.7%
不動産	399	0.5%
金融・保険	359	0.4%
分類不明	201	0.2%
鉱業	44	0.1%
建設	8	0.0%
公務	0	0.0%
合計	83,725	2.8%

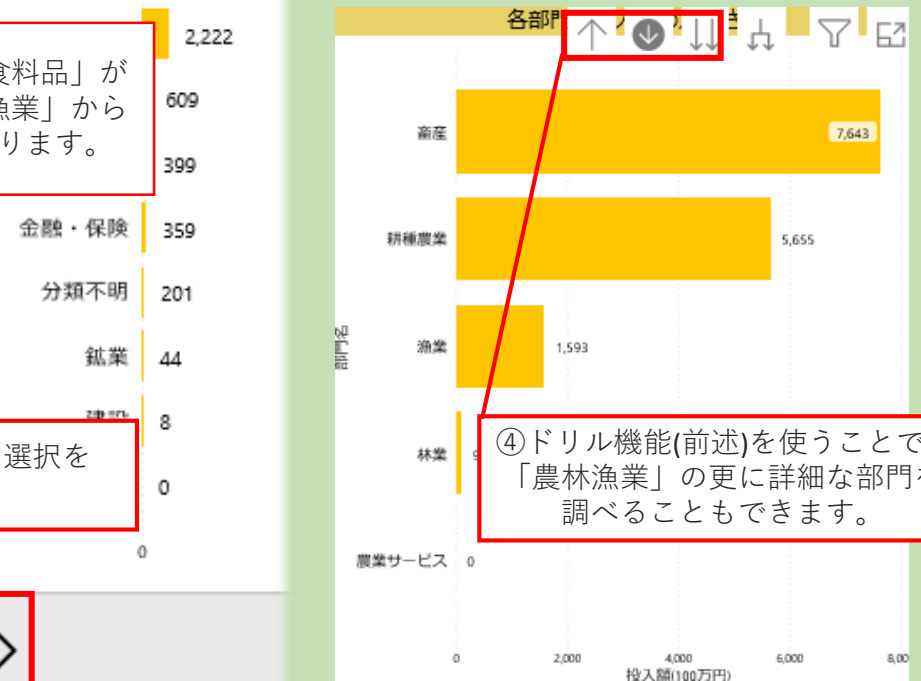
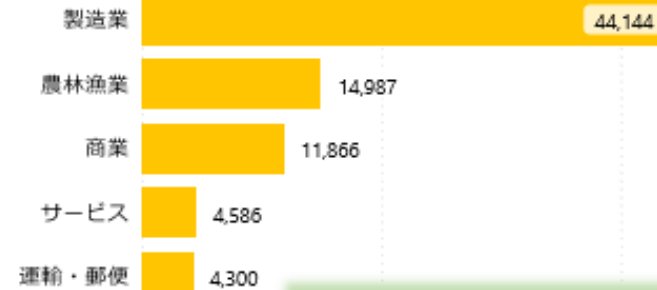
③表とグラフが更新され、「食料品」が原材料を「製造業」や「農林漁業」から多く購入していることが分かります。

⑤クリックすると、②の選択をリセットできます。

①ページ切替から2ページを開く。

< 2 の 4 >

各部門の投入額の大きさ



④ドリル機能(前述)を使うことで、「農林漁業」の更に詳細な部門を調べることもできます。

2. ○○の販売先を知りたい

例として、「食料品」の販売先を調べてみましょう。

需要分析

②プルダウンから「食料品」を選択します。
※大きい分類から選択していくと、探しやすいです。

調べたい部門を以下のプルダウンから選択してください。

各部門の需要額及び構成比

13部門名	需要額	構成比
民間消費支出	185,464	45.4%
移出計	118,179	29.0%
サービス	50,059	12.3%
製造業	48,966	12.0%
家計外消費支出(列)		
輸出計		
在庫純増		
公務		
農林漁業		
一般政府消費支出	0	0.0%
運輸・郵便	0	0.0%
金融・保険	0	0.0%
建設	0	0.0%
鉱業	0	0.0%
市内総固定資本形成(公的)	0	0.0%
市内総固定資本形成(民間)	0	0.0%
商業		
情報通信		
電力・ガス・水道		
合計	408,150	100.0%

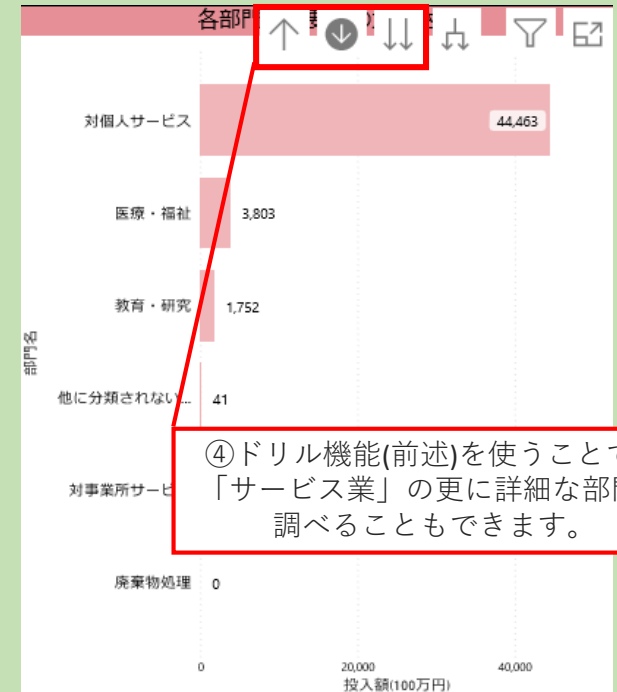
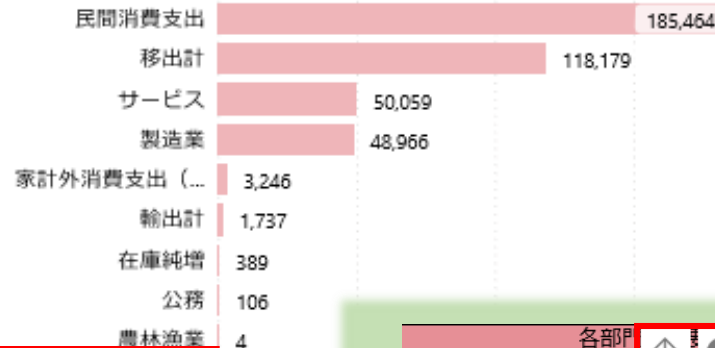
③表とグラフが更新され、「食料品」が「民間消費支出」(家計)や「移出」(市外に対する取引)が多いことが分かります。

⑤クリックすると、②の選択をリセットできます。

①ページ切替から3ページを開く。

< 3 の 4 >

各部門の需要額の大きさ



④ドリル機能(前述)を使うことで、「サービス業」の更に詳細な部門を調べることもできます。

3. 輸出入・移輸出の大きい産業を知りたい

市際収支

②調べたい項目のボタンをクリック

分析したい項目を選択してください

移出

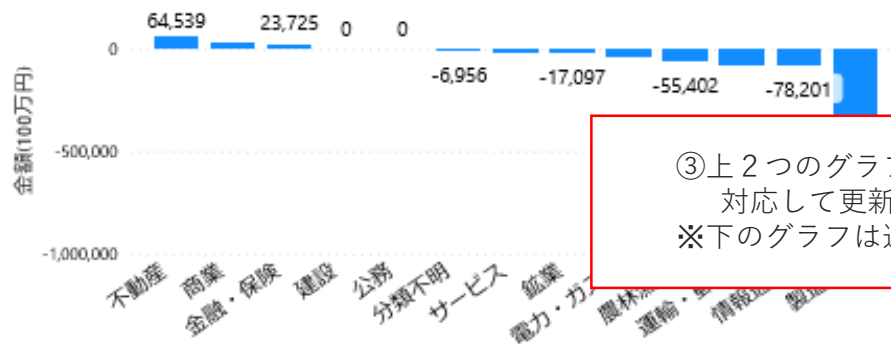
移入

輸出

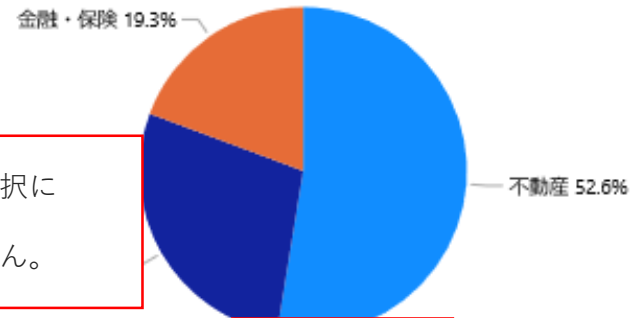
輸入

産業別の移輸出・移輸入の構成比

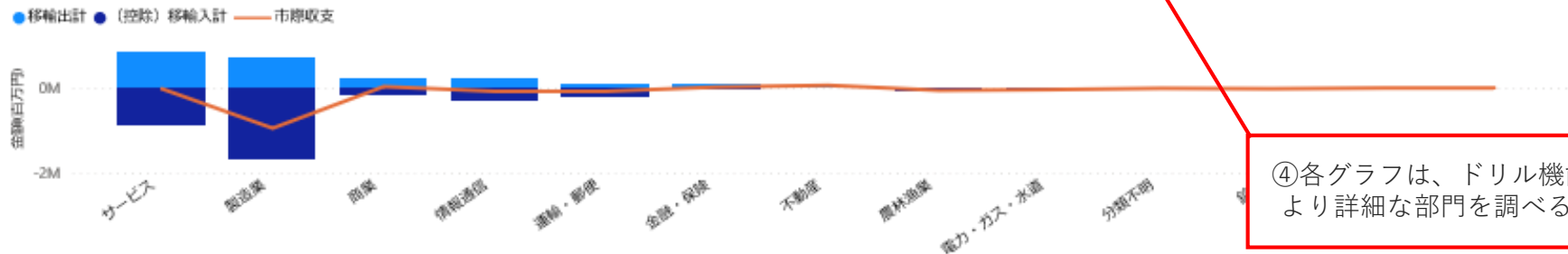
部門別の移輸出・移輸入の大きさ



③上2つのグラフが②の選択に対応して更新されます。
※下のグラフは連動しません。



産業別の市際収支の状況(上記のボタンとは連動しません)



④各グラフは、ドリル機能(前述)によって、より詳細な部門を調べることができます。

①ページ切替から4ページを開く

< 4 の 4 >